



季刊



↑最新情報は
市HPから

KIDS お城ニュース

第12号

令和5年3月発行

お問合せ先

島原城築城400年記念事業実行委員会

(島原市しまばら観光課内)

0957-63-1111 (内線216)



島原城天守と梅の花 (2023.2.26 撮影)

注目情報！

青い目の人形・リトルメリーと仲間たち
～「日米親善人形交流と島原」展～が開催！

- 期間 3月21日(火・祝)～4月6日(木)
- 場所 島原城観光復興記念館

期間中、3/25「春うららトークセッション」
3/30「キッズ・ゲルニカ in 島原城」などの
イベントが行われます。詳しくは、島原親善
人形の会まで(TEL 0957-64-4300)

島原城や城下町の「古写真や
絵図」を探しています。



- 募集期間 令和6年3月31日まで
- 応募・問い合わせ先

島原城築城400年記念事業実行委員会

はる しまばらじょう うめ さくら めいしよ
春の島原城は、梅や桜の名所
として有名です。今年は、外壁や
かわらぬ なおとう おてんしゅ
瓦の塗り直し等を終えた天守が、
まんかい うめ はな うつく いろど
満開の梅の花に美しく彩られて
いました。ところで、島原城に梅
や桜が植えられたのは、明治以降
のことです。絵図を見ると、江戸
じだい ねんりょう たいまつ かつよう
時代には、燃料や松明として活用
できる松などが植えられていた
ようです。



島原城所蔵『島原城下絵図』部分

にちべいしんぜんにんぎょう

日米親善人形

リトルメリー

1984年(昭和59)、島原市立第一小学校で青い目の人形が発見されました。

2000年(平成12)に「リトルメリー」と命名され、2015年(平成27)に市指定文

化財となり、平和と友情を伝える人形として大切に守られています。

1927年(昭和2)、約12,000体の人形が、アメリカから日本の小学校や幼

稚園へ、友好の使者として送られてきました。その後、アメリカと日本の関

係が悪化し、戦争が始まると、人形は焼かれたり壊されたりしてしまいま

した。現在、全国にわずか300体ほど、長崎県では2体しか残っていない人形のひとつが、このリトルメリーです。

さて、今年度は、愛知県幸田町との姉妹都市提携5周年の年でした。幸田町は、江戸時代島原藩を治めた深溝松平家の出身地であり、幸田町にも「グレース・エッサ」という名前の日米親善人形が残っています。リトルメリーとグレース・エッサは、長い時を越えて対面し、2017年(平成29)に「友好の誓い」を結び、姉妹となりました。2009年(平成21)以降、毎年3月には、島原親善人形の

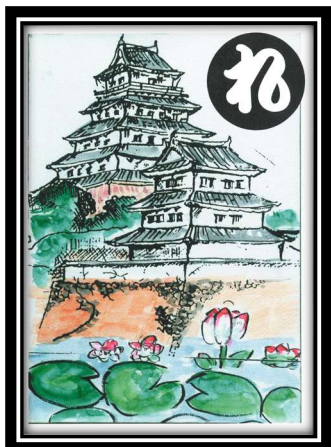


会主催で、島原城観光復興記念館において、リトルメリーをはじめとする日米親善人形とその交流の歴史を紹介する展示が行われています。

【写真】2017年 幸田町郷土資料館で並んで展示された「グレース・エッサ」と「リトルメリー」

しまばら

島原いろはカルタ



れんげさ
蓮華咲く

しちまんごく

七万石の

しまばらじょう

島原城

島原城は、松倉重政が1618年(元和4)から7年をかけて築いた。松倉氏の後には、高力氏が藩主となり、1669年(寛文9)からは松平忠房が島原と豊前豊後の一部(現在の太宰府市など)を合わせて七万石の領地を治めた。

出典：榊原武之「郷土史入門 島原いろはカルタ」さかきばら郷土資料館
絵札：絵・松尾卓次、発行・森岳商店街